

### 安全データシート(SDS)

#### 1. 化学物質及び会社情報

化学品(製品)の名称 : アクアトップSEP 白及び淡彩色  
 供給者の会社名 : 大同塗料株式会社  
 住所 : 大阪市淀川区三津屋北2丁目14-18  
 電話番号 : 06-6308-5821  
 推奨用途 : 塗装及びこれに関連する作業  
 使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと  
 人体及び生物に使用しないこと

#### 2. 危険有害性の要約

##### 【GHS分類】

発がん性 区分1  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2 呼吸器、中枢神経系、血液系  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2 呼吸器、中枢神経系  
 水生環境有害性短期(急性) 区分3  
 水生環境有害性長期(慢性) 区分3

##### 【GHSラベル要素】



「絵表示」

「注意喚起語」 危険

##### 「危険有害性情報」

発がんのおそれ  
 臓器(呼吸器)の障害のおそれ  
 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(呼吸器、免疫系、腎臓、肺)の障害のおそれ  
 長期継続的影響により水生生物に有害  
 GHS分類に関係しない、GHSで扱われない他の危険有害性情報なし

##### 「注意書き」

###### <安全対策>

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。  
 子供の手の届かないところに置くこと。  
 使用前に取扱説明書を手入手すること。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具等を着用すること。

###### <応急措置>

火災の場合: 適切な消火剤(炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液)を使用して、消火すること。  
 ばく露またはその懸念がある場合: 医師に連絡すること。  
 ばく露またはその懸念があるまたは皮膚刺激又は発疹が生じたまたは目の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。

###### <保管(貯蔵)>

耐腐食性/耐腐食性内張りのある密閉容器に保管すること。  
 日光から遮断し、涼しいところに置くこと。

###### <廃棄>

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従ってに廃棄すること。

#### 3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	濃度(%) *1	PRTR法		労安法 通知物質
			管理番号	種別	
酸化チタン	13463-67-7	10~20			該当
滑石(タルク)	14807-96-6	10~20			該当
プロピレングリコール	57-55-6	1			該当
結晶質シリカ(石英)	14808-60-7	<1			該当
酸化ジルコニウム	1314-23-4	<1			該当
酸化ズズ(IV)	18282-10-5	<1			該当

\*1 濃度は原料組成情報より計算した代表値です。実際の濃度を保証するものではありません。  
 濃度が幅表示の場合は営業秘密です。

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

呼吸に関する症状が出た、気分が悪い場合は医師に連絡すること。

皮膚又は髪に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。溶剤、シンナーは使用しないこと。

眼に入った場合

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

まぶたの裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

本製品は不燃である。

適切な消火剤 : 情報なし

使ってはならない消火剤 : 情報なし

特有の消火方法

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用すること。

安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。

指定の消火剤を使用すること。

消火活動は風上から行うこと。

周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用すること。

屋内では換気をしっかり行うこと。

屋外の場合は、できるだけ風上から作業を行うこと。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。

環境に対する注意事項

河川への排出などにより、環境への影響を起さない様に注意すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材

漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移すこと。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い上の注意

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱後は手と顔をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保管上の注意

耐腐食性/耐腐食性内張りのある密閉容器に保管すること。

日光から遮断し、涼しいところに置くこと。

盗難防止のため施錠保管すること。

子供の手の届かないところに保管すること。

漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度等

管理目標濃度 ppm未満 (ハザードレベル5 中飛散性/中揮発性 取扱い温度 23°C CREATE-SIMPLE 2024年5月)

管理物質	労安法		米国産業衛生専門官会議		
	管理濃度	基準濃度値		ACGIH TLV 許容濃度値	skin
		8時間	短時間		
酸化チタン				10mg/m3	
滑石 (タルク)				2mg/m3	
プロピレングリコール					
結晶質シリカ (石英)				0.025mg/m3	
酸化ジルコニウム				5mg/m3	S
酸化スズ(IV)				2 mg/m3	

設備対策

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機、局所排気装置等により作業者のばく露が避けられる設備にすること。

タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所全体を十分に換気できる装置を取り付けること。

粉塵が積もらないような設備とすること。

呼吸系の保護具

防じんマスクを着用すること。

密閉された場所では送気マスクを着用すること。

手の保護具

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

目の保護具

取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

取り扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他

静電塗装を行う場合は帯電防止服、通電靴を着用すること。

**9. 物理及び化学的性質**

物理状態	: 液体
色	: 化学品(製品)の名称に記載
臭い	: 無臭
沸点(°C)	: 100
可燃性	: 不燃
爆発限界(%)	: 情報なし
引火点(°C)	: 情報なし
自然発火点(°C)	: 情報なし
分解温度(°C)	: 情報なし
pH値	: 6-9
動粘性率(mm <sup>2</sup> /s)	: 情報なし
水に対する溶解度	: 水と混和する
蒸気圧(Pa(°C))	: 情報なし
密度(23°C g/cm <sup>3</sup> )	: 1.5
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし
その他	: 情報なし

**10. 安定性及び反応性**

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の取り扱いでは安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 凍結
接触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし
その他の有害性情報	: 情報なし

**11. 有害性情報**

皮膚感作性	
酸化ジルコニウム	区分1
生殖細胞変異原性	
結晶質シリカ(石英)	区分2
発がん性	
酸化チタン	区分2
結晶質シリカ(石英)	区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	
滑石(タルク)	区分1(呼吸器)
プロピレングリコール	区分1(中枢神経系、血液系)、区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
酸化チタン	区分1(呼吸器)
滑石(タルク)	区分1(呼吸器)
プロピレングリコール	区分1(中枢神経系、呼吸器)
結晶質シリカ(石英)	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)
酸化スズ(IV)	区分1(肺)

**12. 環境影響情報:**

水性環境有害性 短期(急性)	: 情報なし
水性環境有害性 長期(慢性)	
酸化チタン	区分4
オゾン層への有害性	: 情報なし
水性環境有害性以外の生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。  
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物  
内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従ってに廃棄すること。  
廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をすること。  
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。  
固化した塗料、焼却物、排水も関係する法規にしたがって処理を行うか、委託すること。  
環境に配慮し、空容器、包装等はリサイクルを推奨すること。

**14. 輸送上の注意**

国連番号	: 該当しない
品目名	: 該当しない
国連分類	: -
副次危険性	: -
容器等級	: -

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策:  
7. 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。  
国内規制がある場合の規制情報

指針番号：－

陸上輸送： 消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの法律に定められる運搬方法に従うこと。

荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード)を交付すること。

海上輸送： 船舶安全法、海洋汚染防止法の定めるところに従うこと。

航空輸送： 航空法の定めるところに従うこと。

## 15.適用法令

消防法	: 該当しない
労働安全衛生法	
名称等を通知すべき危険物及び有害物	: 3.組成及び成分情報に記載
有機溶剤中毒予防規則	: 該当しない
特定化学物質障害予防規則	: 該当しない
がん原性物質	: 該当しない
	結晶質シリカ(石英)
皮膚等障害化学物質及び特別規則に基づく	
不浸透性の保護具等の使用義務物質	: 酸化ジルコニウム
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法	: 3.組成及び成分情報に記載

## 16.その他の情報

引用文献等:

JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作. 業場内の表示及び安全データシート(SDS)

GHS文書 改訂第6版(2015年)の仮訳(経済産業省)

GHS文書 改訂第9版(2021年)の仮訳(経済産業省)

Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS) 6th revised edition (UNECE)

Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS) 9th revised edition (UNECE)

SDS用物質データベース(塗料用)((社)日本塗料工業会)

GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)改定第4版]((社)日本塗料工業会)

職場の安全サイト(厚生労働省)

NITE統合版 GHS分類結果(独立行政法人製品評価技術基盤機構)

CREATE-SIMPLE ver 3.0 (厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課)

注意

この安全データシートは、作成時、又は改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、この安全データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

その他

・ 化学物質の名称は「NITE統合版 GHS分類結果」を優先している。PRTR法、特定化学物質障害予防規則での名称と異なる場合がある。

・ この安全データシートは、製品毎にグループ化して作成している。グループ内でもっとも有害性の強いものを代表とするため、実際の実際の製品より強い危険有害性区分を記載していることがある。